

スマートPV 停電に備えての準備① ※詳しくは取扱い説明書をご覧ください



台風の接近等、停電が起こりそうなときは
安心モードをおすすめします。

●通常時の蓄電動作の設定を変更する（蓄電動作モード設定）

■ 連系運転時の蓄電池ユニットの動作について

通常時の蓄電池の動作モードは、下記の3種類から選ぶことができます。お客さまの生活スタイルや環境に合った動作モードを選んでください。

- 充電や放電は、太陽光発電の発電電力や消費電力に合わせて、電力供給の状態が切り替わります。
- 電力会社との契約内容に合わせて充電時間帯を設定してください。(⇒ 53)

蓄電動作モード	経済モード	安心モード	グリーンモード
特長	経済的なメリットを優先させます。	停電時に使用できる蓄電残量を優先させます。	太陽光で発電した電力の余剰分で蓄電池の充電を行うことで、自然エネルギーを有効に活用します。
充電方法	電気料金の安い深夜時間帯に充電します。		太陽電池の発電電力からご家庭の消費電力を引いた電力分を充電します。 ● 夜間充電量を10～50%に設定している場合は、電気料金の安い深夜時間帯にも充電します。
使用できる蓄電電力	蓄電残量0%まで使用できます。* (充電した電力をすべて使えます)	蓄電残量50%まで使用できます。* (充電した電力の半分まで使え、残り半分は停電に備えて残しておきます)	蓄電残量0%まで使用できます。* (充電した電力をすべて使えます)
SOC 下限設定 (⇒ 47)	停電に備えて、残しておく蓄電残量を0～30%で設定できます。	停電に備えて、残しておく蓄電残量を0～100%で設定できます。	停電に備えて、残しておく蓄電残量を0～30%で設定できます。
夜間充電量	深夜時間帯に蓄電残量が100%になるまで充電します。		夜間充電量の設定により、深夜時間帯に充電する蓄電残量が変わります。(最大50%まで) ● 「夜間充電なし」に設定している場合は、夜間充電を行いません。

※蓄電残量(SOC下限値)100%を推奨

※【安心モードは】設定変更時残量が設定値を下回っている場合はすぐに充電を開始します。

※危機的状況を回避した場合、元の設定に戻してください。(通常時の放電が0の状態です)



スマートPV 停電に備えての準備②

※詳しくは取扱い説明書をご覧ください

■ 設定の変更方法

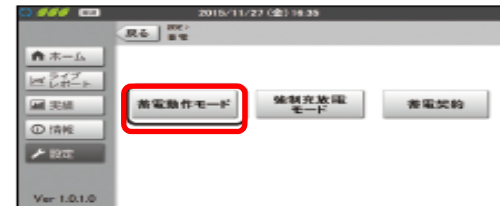
- 強制充放電モードを「強制充電」「強制放電」に設定している場合は、蓄電動作モードの設定を変更すると、強制充放電モードの設定が解除されます。(⇒ 52)

1 設定メニュー画面 (⇒ 15) で「蓄電」を選ぶ

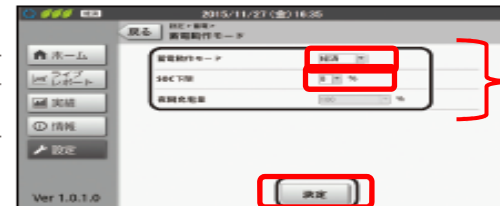
- 蓄電設定画面が表示されます。



2 「蓄電動作モード」を選ぶ



3 設定を変更し、「決定」を選ぶ



項目	設定
蓄電動作モード	蓄電動作モードを設定します。 経済 / 安心 / グリーン
SOC 下限	放電時に使用できる蓄電残量の下限値 (%) を設定します。(10% 刻み) - 経済モード: 0 ※ ~ 30 (%) - 安心モード : 0 ~ 50 ※ ~ 100 (%) - グリーンモード: 0 ※ ~ 30 (%)
夜間充電量	夜間、蓄電池の蓄電残量を何%まで充電するかを設定します。 ● 蓄電動作モードの設定で「グリーン」に設定している場合、下記から選べます。 夜間充電なし (初期値) / 10/20/30/40/50 (%) ● 蓄電動作モードの設定で経済モード / 安心モードを選んでいる場合は 100% に設定されます。(設定は変更できません)

※それぞれのモードでの初期値になります。

- 設定した蓄電動作モードに切り替わります。
- SOC 下限は蓄電動作モード (経済モード / 安心モード / グリーンモード) ごとに設定できます。(それぞれのモードで SOC 下限の設定は記憶されます。)

【注意】危機的状況が去れば通常モードに戻すため、現状の設定を忘れないようにしてください

停電時に備え蓄電残量100%(満タン)を推奨いたします